

令和5年12月21日

第6学年保護者の皆様

廿日市市立阿品台東小学校長 柳川 大蔵

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

師走の候、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校教育に対し、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

さて、4月に全国の6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。今回の結果から把握した各児童の学習や生活における実態をもとに、今後の指導内容や指導方法の改善・充実を図ってまいります。なお、これらの内容については、学校ホームページにも掲載します。

1 教科に関する調査

国語

本校平均正答率 72% 広島県平均正答率 69% 全国平均正答率 67.2%

【重点課題】

- 複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり書き表し方を工夫したりすることに課題がある。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

【重点課題に対応した指導内容及び方法】

- 図表やグラフなどの資料から、分かったことや考えたことをまとめる活動を行う。
- 書いた文章の感想や意見を友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見つける活動を充実させる。
- 言語事項に関する反復練習だけでなく、作文の中で適切な漢字を使うことができるように指導する。
- 長い文章を抵抗なく読むことができるように、日常の音読や読書活動の充実を図る。

算数

本校平均正答率 65% 広島県平均正答率 64% 全国平均正答率 62.5%

【重点課題】

- 百分率で表された割合についての理解に課題がある。
- 高さが具体的に示されていない複数の三角形について、それぞれの大小を判断するのに必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題がある。

【重点課題に対応した指導内容及び方法】

- 課題がイメージできるように具体物を用いたり、絵や図に表したりして課題に取り組む機会を設ける。
- 具体的な数値が示されていない場面において、必要な情報を主体的に見出したり、適当な数値を当てはめたりして考えることができるように指導する。
- 式や言葉を使って説明したり、文章に書き表したりする活動を大切にする。

2 生活習慣や学習指導等に関する質問紙調査（主なもののうち肯定的解答）

本校結果と全国結果を比較した場合、次の事項は、特に本校児童のプラス面（○）、マイナス面（△）といえます。

- | | |
|--|---------------------|
| ○友達関係に満足していますか。 | (本校 91.1% 全国 90.3%) |
| ○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。 | (本校 97.8% 全国 96.9%) |
| ○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはありますか。 | (本校 93.3% 全国 91.0%) |
| | |
| △自分には、よいところがありますか。 | (本校 75.6% 全国 83.5%) |
| △自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 | (本校 55.5% 全国 76.5%) |
| △学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。 | (本校 68.9% 全国 77.4%) |

【今後の取組】

- 自己肯定感を高めていけるように、自分で決めて、やってみる経験を積みせるとともに、挑戦したことをお互いが認められるようにしていく。
- 学級で安心して様々な意見が出し合えるように、人間関係づくりやソーシャルスキルトレーニング等を行うとともに、話し合いで考えが深め広げられる機会を設ける。
- 指導事項の系統性を考えた授業を行い、既習事項を繰り返し確認するとともに、個別指導により、既習事項の定着に取り組む。

学校では、これらの結果を受け、よりよい学校教育に向け、全教職員で共通理解を計りながら取組を進めてまいります。改善に向け、学校だけでなく、家庭・地域がそれぞれの適切な役割を果たしつつ、連携・協働した取組が行われることが重要です。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。